

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

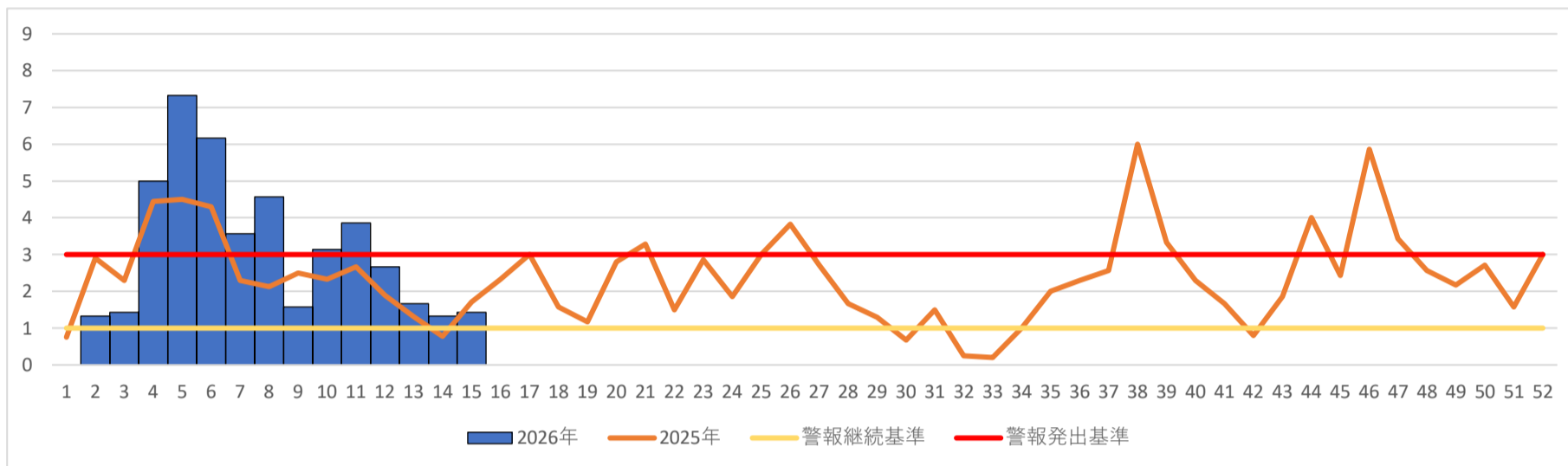
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2026年 第15週 (4月6日～4月12日)

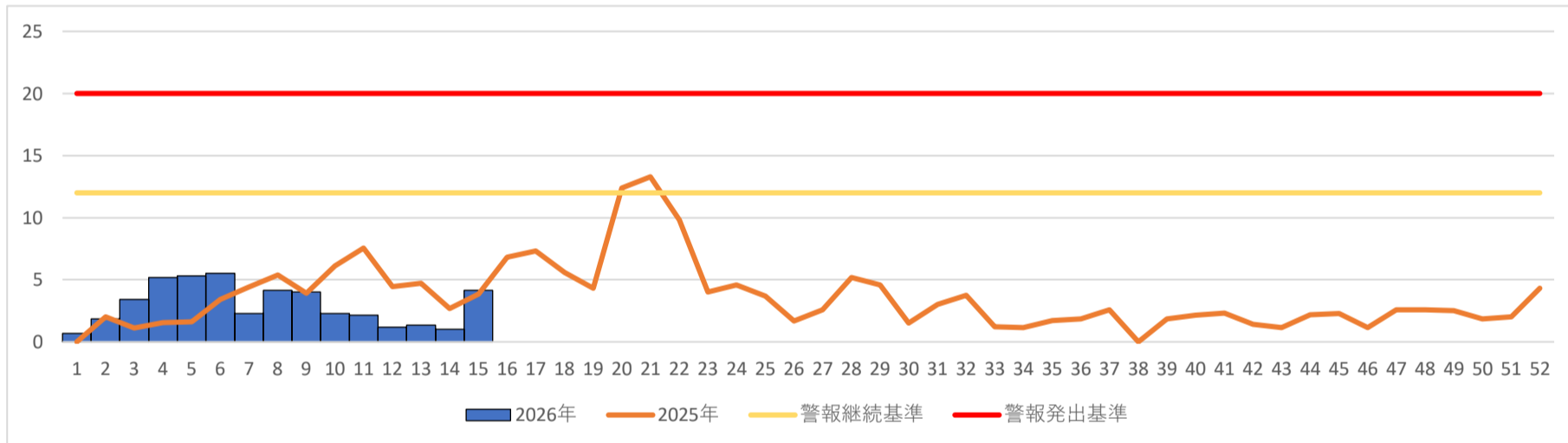
今週のコメント

- 「咽頭結膜熱」の定点当たりの報告数は1.43と前週より増加し、依然警報継続基準を超える報告数です。手洗い、手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症予防を行いましょう。
- ノロウイルス等の「感染性胃腸炎」の定点当たりの報告数は4.14 (14週1.00、13週1.33) と増加しています。報告数としては例年並みですが、調理や食事前には手洗いをしっかり行いましょう。
- 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の定点当たりの報告数は4.00 (14週3.33、13週4.83) と微増しています。
- 「インフルエンザ」の定点当たりの報告数は1.50 (14週3.33、13週7.13) と減少傾向です。

咽頭結膜熱 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



感染性胃腸炎 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患

<特定の医療機関(定点医療機関)を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	1.50 (0.45)	手足口病	— (0.00)
新型コロナウイルス感染症	1.90 (1.90)	伝染性紅斑	— (0.00)
RSウイルス感染症	— (0.00)	突発性発しん	— (0.00)
咽頭結膜熱	1.43 (1.08)	ヘルパンギーナ	— (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00 (1.20)	流行性耳下腺炎	0.14 (0.00)
感染性胃腸炎	4.14 (4.14)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	0.43 (0.00)	流行性角結膜炎	— (0.00)

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

警報: 1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(警報の開始基準値)以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値(警報の継続基準値)以上の場合に発生します。

注意報: 警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(注意報の基準値)以上の場合に発生します。

全数把握疾患

<全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	報告なし
3類感染症	報告なし
4類感染症	報告なし
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症(1件)、水痘(入院例)(1件)

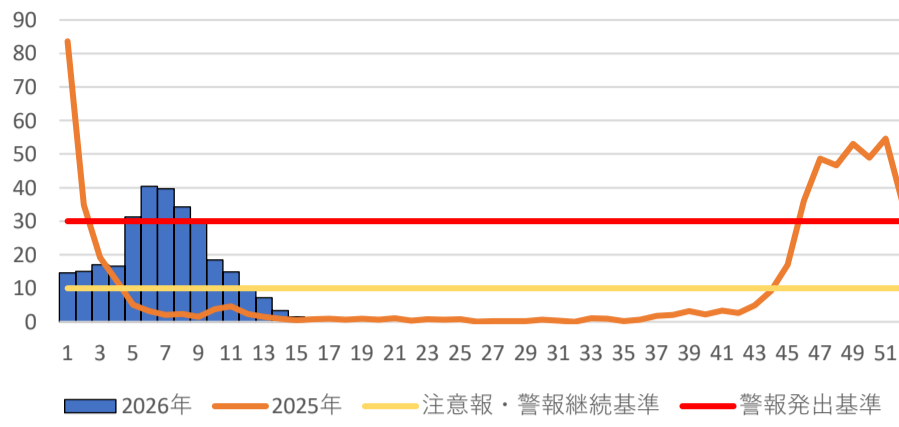
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考: 京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

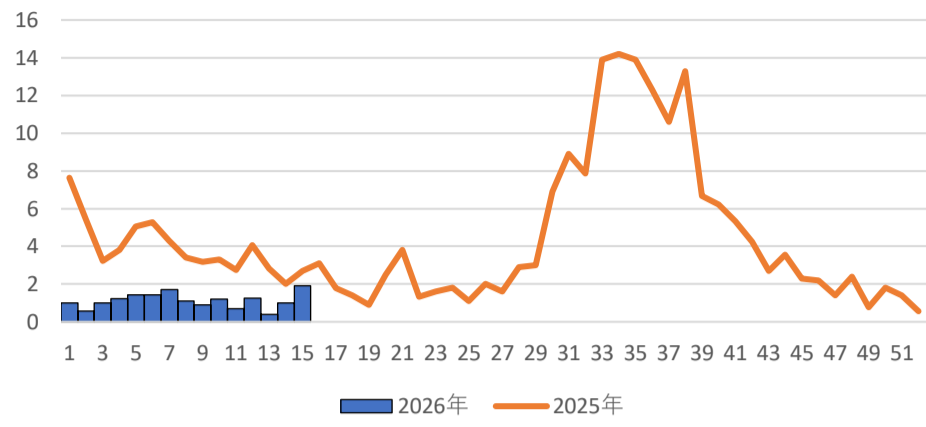
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



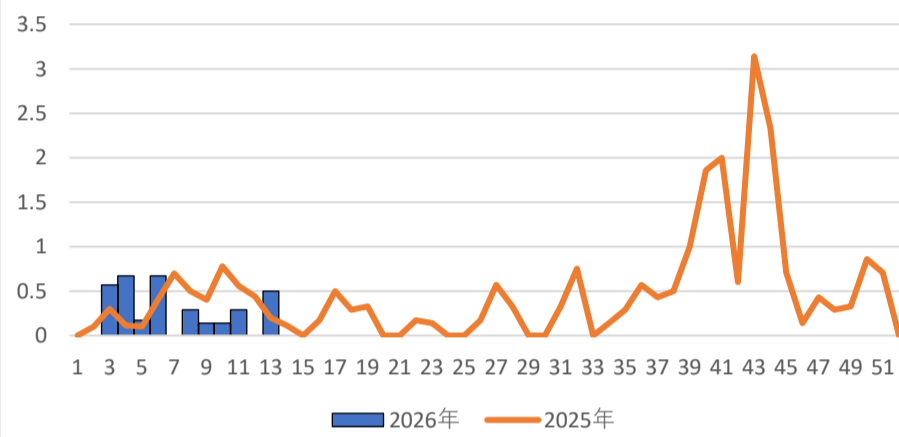
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

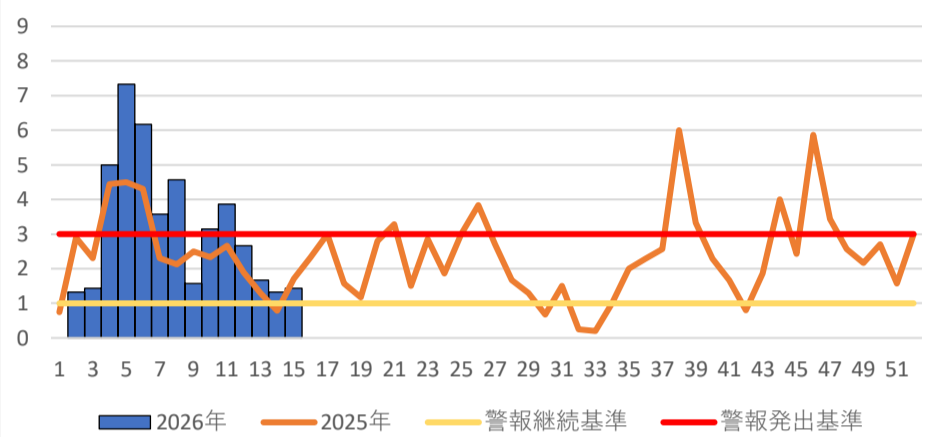


RSウイルス感染症

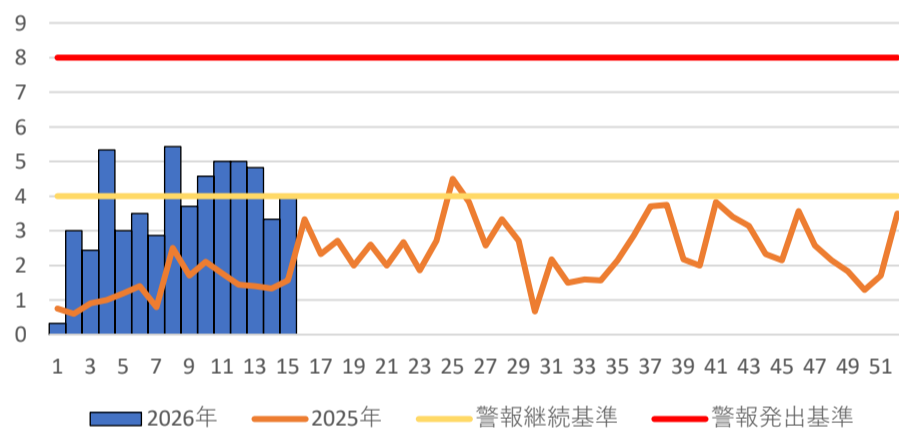
警報基準なし



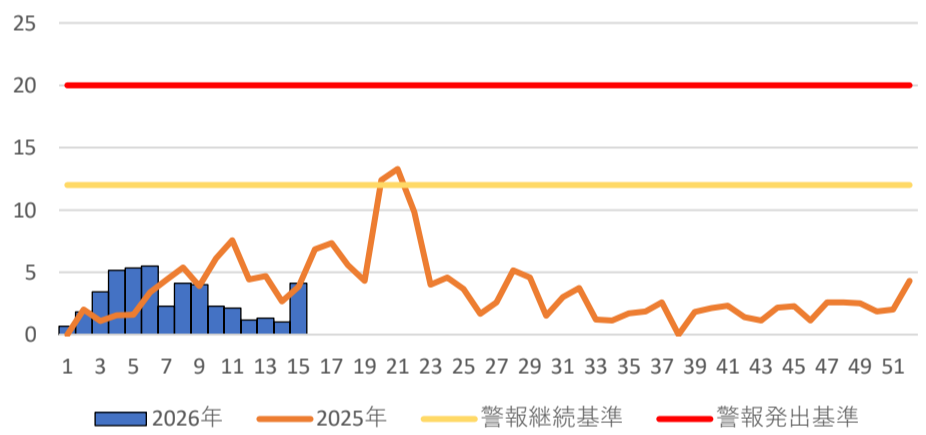
咽頭結膜熱



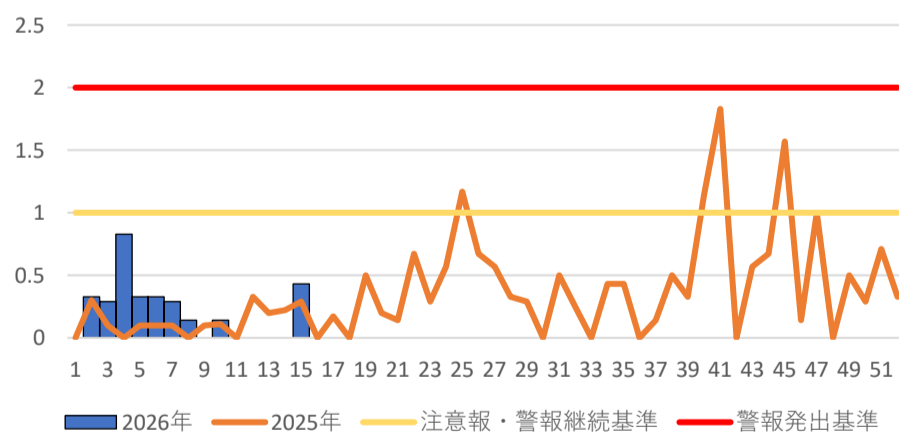
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



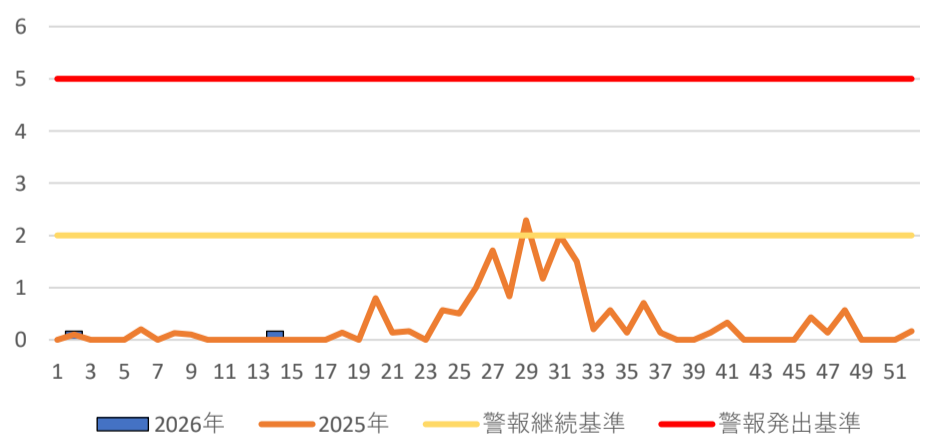
感染性胃腸炎



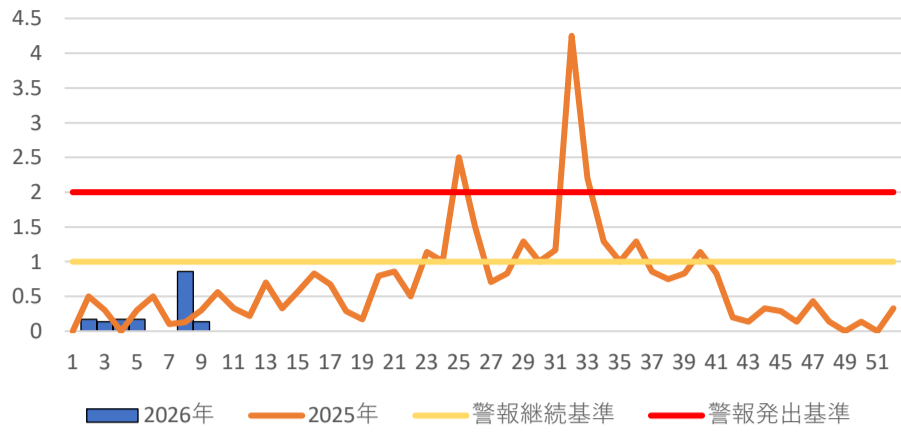
水痘



手足口病

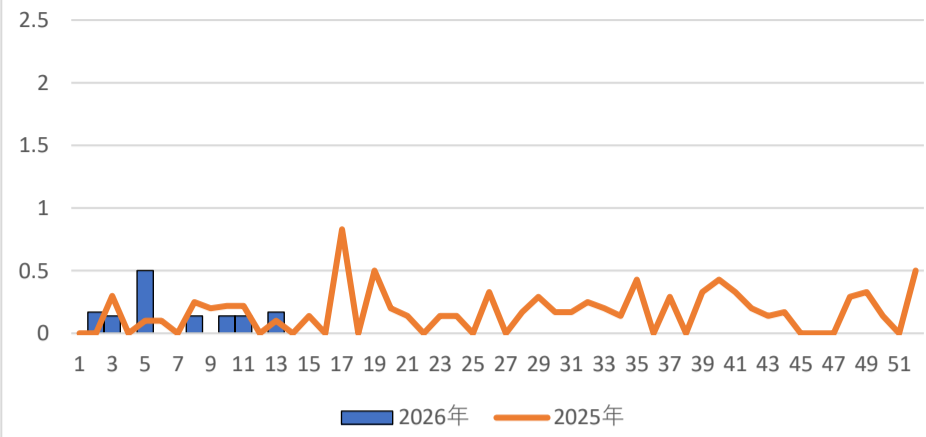


伝染性紅斑

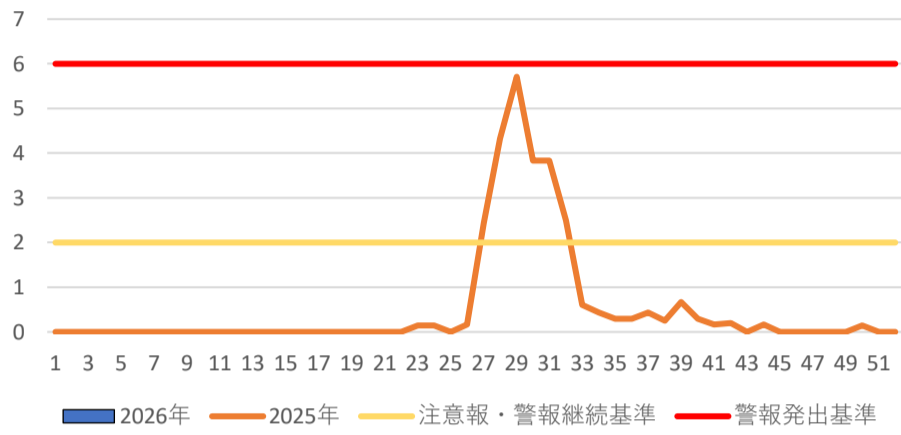


突発性発しん

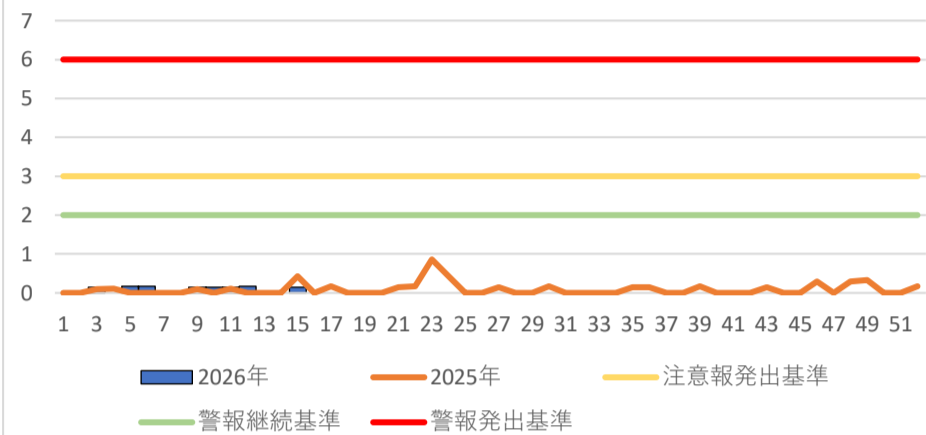
警報基準なし



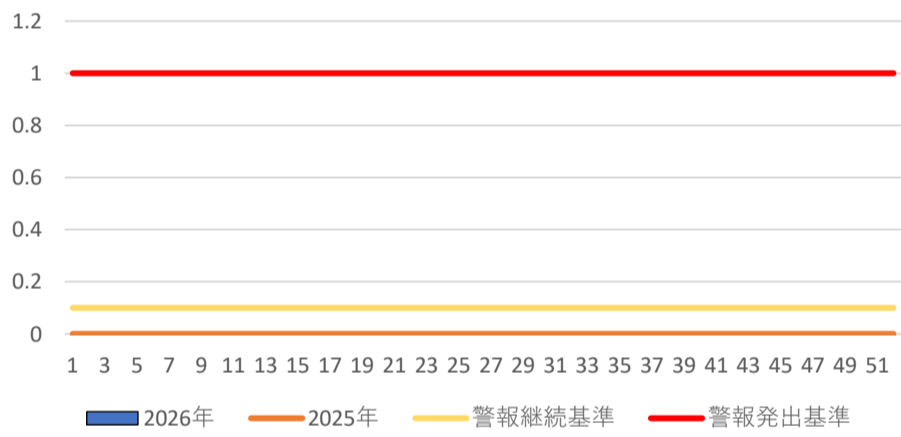
ヘルパンギーナ



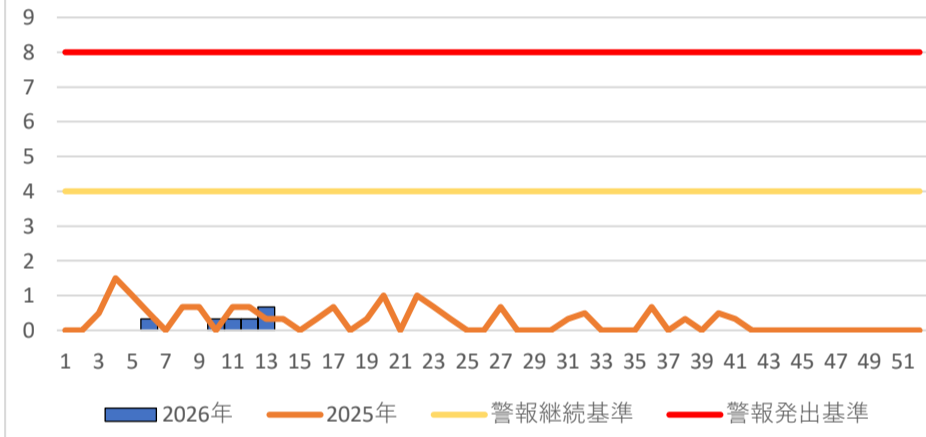
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

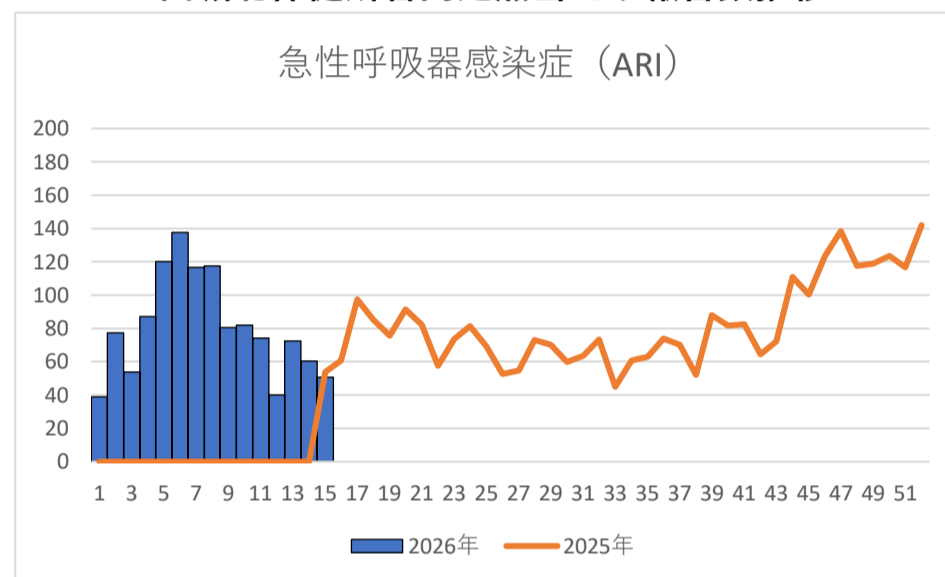
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	50.57（0.84）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>